

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
URL <http://uccj.org>
発行人 道家紀一
編集主筆 渡邊義彦
印刷所 株式会社きかんし



和解の言葉の受肉

コリントの信徒への手紙二 5章19節



どうして一つになれないのか

キリストにおいて天と地が結ばれた

思い起こしてみましょ
う。羊飼いは夜通し羊の
群れの番をしていまし
た。彼らを支配する真夜
中の闇、それは他でもな
いわたしたちの罪の闇を
示しています。すると突
然、その闇を引き裂くよ
うにして、天からの光が
射し込むのです。「主の天
使が近づき、主の栄光が

和解の言葉がゆだねられている

いう新しい行動を始める
時なのです。それは自分
のちっぽけな優しさや、
寛大さによるものではあ
りません。罪に対して妥
協することでは決してな
いのです。痛いほどに罪
を知り、これを嘆く中で
キリストの和解の恵みに
生かされた者たちは、皆
そのように生きることが
できるのです。そこにわ
たしたたちの希望がありま
す。

す。すると人は神さまの前から姿を隠しました。「その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、主なる神はアダムを呼ばれた。『どこにいるのか』」（創世記3・8〜9）。ここに神さまと人との隔たりが生じています。この隔たりこそ、わたしたちが分断を繰り返し、二極化していく現実を作り出していると言えるでしょう。そして聖書はこの隔たりを、例えば天と地、生と死、光と闇、そういう二つの相反するものを用いて表現しています。神さまと人がそのように全く相容れないものになってしまっただけでなく、遠く隔たってしまった。この罪がわたしたちのあらゆる隔たりの根底にあるのです。

く、神さまがまことの人として生まれてくださったイエス・キリストの受肉にあります。天と地の隔たりを越えて神さまがご自身を地上に現された。大きく分断され対極にあった天と地がキリストにおいて結ばれたのです。そしてこのキリストによって、神さまはわたしたちの罪を赦し、和解の道を開いてくださいました。

しかしこの和解は、わたしたちの罪を水に流

神の独り子が十字架で負われまして、この尊い御子の命をもって、わたしたちは罪を赦され、神さまと和解させていただいたのです。わたしたちが自分で償ったものではありません。神さまの方が自ら歩み寄られ、この罪を贖ってくださいなのです。そこに救いがあります。そしてこの恵みを知る時に、わたしたちも御前に罪を告白し、悔い改めて生きる真の和解への歩みが始められます。

(錦ヶ丘教会牧師)

▼伝道資金小委員会▲

18年度申請、大阪教区が加わり15教区に

第2回伝道資金小委員会
会が10月12日教団会議室
にて「伝道資金規則」(2
014年10月、第39回教
団総会議決)及び201
8年度伝道資金運用指針

に基づき、全教団的教区
間互助の働きに仕えるこ
とを使命として開催され
た。

越金、2016年度繰越
金、献金等の総額が土地
取得貸付資金となる報告
を受けた。

各教区からの2016
年度伝道資金報告書を通
して、書式統一の必要等
について協議した。現状
では各教区の伝道資金の
取扱方法が異なるため、
書式の統一ではなく最低
限の必要項目と2頁以内
(添付資料は除く)の分
量でまとめることをお願
いすることとした。

2017年度の伝道資
金運用状況を確認し、6
月に申請教区へ半額送金
済であること、12月に
残りを送金予定であるこ
とを確認した。資金繰り
のためにも教規通り負担
金納付を願いたいとの意
見があった。

2018年度伝道資金
申請は新たに大阪教区か
ら申請を受け15教区とな
った。沖縄教区、九州教
区は引き続き未申請であ
った。これまで各教区が
運用指針に基づき全体を
とて確認した。

2015年度から始ま
った伝道資金が3年目を
実行されてきていたが、
2018年度は申請額が
負担金総額を超えたこと
で、申請額を調整した案
を常議員会に提出するこ
ととした。

配慮しつつ申請を行い、
ほぼ各教区の申請通りに
実行されてきていたが、
2018年度は申請額が
負担金総額を超えたこと
で、申請額を調整した案
を常議員会に提出するこ
ととした。

2015年度から始ま
った伝道資金が3年目を
実行されてきていたが、
2018年度は申請額が
負担金総額を超えたこと
で、申請額を調整した案
を常議員会に提出するこ
ととした。

◆統一原理問題全国連絡会◆

「クリスチャン・トゥeday」「統一協会」摂理について講演

2017年度「統一原
理問題全国連絡会」(以
下、「連絡会」)が、10月
12・13日、日本キリス
ト教として同一の線
教会館で持たれた。

6月13日付で当時の教団
議長山北宣久氏が統一協
会との関連を示唆し、疑
惑が解明されない限りキ
リスト教として同一の線
教会館で持たれた。

今回は「連絡会」有志
によって聞き取り調査さ
れた元信者の証言を紹介
した。証言者は大学在学
中に、C Tとその関連団
体の創設者で統一協会の
核心メンバーであった張
在亨(クリスチャン新
聞)2013年12月2日
号参照)によって、既存
の「大韓イエス教長老会

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教



伝道資金3年目に準備

2017年度「統一原
理問題全国連絡会」(以
下、「連絡会」)が、10月
12・13日、日本キリス
ト教として同一の線
教会館で持たれた。

6月13日付で当時の教団
議長山北宣久氏が統一協
会との関連を示唆し、疑
惑が解明されない限りキ
リスト教として同一の線
教会館で持たれた。

今回は「連絡会」有志
によって聞き取り調査さ
れた元信者の証言を紹介
した。証言者は大学在学
中に、C Tとその関連団
体の創設者で統一協会の
核心メンバーであった張
在亨(クリスチャン新
聞)2013年12月2日
号参照)によって、既存
の「大韓イエス教長老会

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

を名乗るよう指示された
教会の勧誘で入信し、そ
の活動に従事するよう
なり、C Tで働いた経験
を証言した。「連絡会」は、
2008年議長声明が未
だに有効であること、教

▼「障がい」を考える小委員会▲

岩手「カナンの園」を訪問

11月8・9日、第2回
委員会を開催。1日目は
奥羽キリスト教センタ
ーにて協議の時を持ち、2
日目は、岩手県一戸町の
奥中山の障がい者福祉事
業を担うカナンの園を訪
ねた。

「障がい」をテーマに全国交流
会を4年毎に開催してお
り、相談室が立ち上がる
までの間、設置準備委員
会との連携が必要と判断
した。

常議員会、宣教委員会、
設置準備委員会の報告を
受け、全国交流会につい
て確認した。講師に杉本
園子氏(医療法人精華園
海辺の杜ホスピタル心理
室長・高知教員)を決
め、プログラム等を決め
た。日時は2018年10
月1日・2日、戸山サン

パンを購入するという。
カナンの園は利用者を
施設に入所させるのでは
なく、地域で「普通の生
活が出来る」ように援助
する発想で事業展開す
る。長年の営みを経て、
今や町の生活と経済が障
がい者抜きには考えられ
ない福祉の町になってい
る。

職員は9割が信徒では
ないが「一人ひとりが尊
厳」の価値観は共有。
今日、運営は教会なしで
成り立ち得るが「職員は
成り立ち得るが「職員は

信者も含め皆弱さがあ
る。諸教会から献金と祈
りを以て覚えてもらい、
諸教会の祈りの必要とそ
の役割を改めて認識し
た。

信者も含め皆弱さがあ
る。諸教会から献金と祈
りを以て覚えてもらい、
諸教会の祈りの必要とそ
の役割を改めて認識し
た。

信者も含め皆弱さがあ
る。諸教会から献金と祈
りを以て覚えてもらい、
諸教会の祈りの必要とそ
の役割を改めて認識し
た。

信者も含め皆弱さがあ
る。諸教会から献金と祈
りを以て覚えてもらい、
諸教会の祈りの必要とそ
の役割を改めて認識し
た。



奥中山教会を訪問

「韓日5教団の宣教師に関する実務者会議」
宣教師派遣・受け入れ手続きについて協議

11月27・28日、同志社
びわこリトリートセンタ
ーにて、第4回韓国3教
会と日本2教会の宣教師
に関する実務者会議が開
催された。これは、大韓
イエス教長老会(PC
K)、韓国基督教長老会
(PROK)、基督教大韓
監理会(KMC)の韓国
3教会(教会)から、教
団の教会等へ派遣される
宣教師の人事に関する諸
課題を検討する会議であ
る。また、教団は、在日
大韓基督教会(KCCJ)
との間においても教師や
宣教師の人事交流がある
ことから、同教会もこの
会議に加わっている。

これまで、韓国と日本
において3回の会議が開
催されており、各教団教
会)における宣教師の派
遣および受け入れに関す
る手続きの確認、派遣宣
教師および受入宣教師の
数と働きの現状等の報告
がなされている。また、
今後の宣教師人事交流に
おける検討課題(宣教師
のインタラシップ制度
設置の可能性、教団にお
ける宣教師会議の充実、
宣教師の支援体制・制度
の整備など)について話
し合いを重ねている。

今回は韓国3教会よ
り、宣教師人事担当者各
1名が出席し、日本から
は、在日大韓基督教会か
ら金鐘賢総会長ほか3
名、教団から雲然俊美教
団書記と加藤誠世界宣教
担当幹事が出席した。ま
た、通訳は崔長壽宣教師
が担当した。

次回会議はPCKが準
備をし、2018年3月
8・9日、韓国において
開催される予定である。
(雲然俊美報)



元信者の証言に聞く

◆山梨伝道キヤラバン ◆伝道推進室主催

伝道の最前線である教会・学校へ

伝道推進室主催の伝道キヤラバンが、10月28日から30日の日程で、東海教区山梨分区分の諸教会・関係学校の篤い協力のもとに開催された。伝道推進室より6名、東京神学大学および日本聖書神学校より神学生10名が参加した。

28日、東京神学大学で祈りがささげられたのち、4台の自動車に分乗して山梨・愛宕町教会へ向かった。山梨分区分に属する教職との懇談会がおこなわれ、山梨分区分における伝道活動の丁寧な報告をもらい、より理解を深める機会となった。夜には分かち合いと祈禱会をもって一日が閉じられた。

30日、教団関係学校である山梨英和大学を訪問した。大学礼拝で石橋議長との腹話術を交えた説教がなされたのち、大学との懇談がおこなわれ、山梨英和大学におけるキリスト教教育の働きが紹介された。教会との密接なつながりがあってこそ、大学の営みが祈られつつ成り立っている現状が紹介された。

その後、神学生との分かち合いの時、祈禱会の時をもって、3日間の伝道キヤラバンが終了した。伝道の最前線である教会で、礼拝がさげられ福音が宣べ伝えられる。ここに伝道の基本があることを誰もが確信した時であった。



山梨英和大学を訪問して

29日、参加者による早朝礼拝ののち、午前7時、山梨分区分の7教会(愛宕町、南甲府、巨摩、山梨八代、勝沼、大月新生、富士吉田)へ、それぞれ教職・神学生が遣わされた。礼拝では教職・神学生が説教や証しを担当し、教会との密接なつながりがあった。午後には、日下部教会を会場にして「伝道協議会が開催された。協議会では、石橋秀雄議長より、日本基督教団における新たな伝道の取り組みについて紹介され、また山梨分区分からは矢野俊介牧師(愛宕町)より、山梨分区分における伝道の課題についての発題があった。その後、参加者が活発な意見をかわし、伝道のスピリットを共有した。

(齊藤 篤報)

社会委員会

排他的な対応ではなく

森下 耕

先日訪れた欧州のある都市で、路上で物乞いをしている人たちが多くいた。教会の前で物乞いをしている高齢者もいた。それに対する道行く人々の対応は冷やかであり、その国が難民受け入れ政策を掲げていることにも言葉だけの受け入れでしかないとの印象をもった。

旧約聖書・申命記の教えの中には、かつてエジプトで寄留者であった民の経験の思い起こし、孤児と寡婦の権利を守り、寄留者を愛することが勧められている(申命記10・17・19)。またこうした旧約聖書の教えの中

委員会コラム

旧約聖書・申命記の教えの中には、かつてエジプトで寄留者であった民の経験の思い起こし、孤児と寡婦の権利を守り、寄留者を愛することが勧められている(申命記10・17・19)。またこうした旧約聖書の教えの中

CCAアジア宣教会議に参加して

第4回アジア宣教会議が10月12〜16日、ミャンマー・ヤンゴンで開催された。当初は400名の参加予定だったが600名に増えた。前回の開催は23年前ソウル。今回はミャンマーバプテスト連盟とミ



参加者が増え、フランクオーティリアムに会場を急遽変更して開催

ヤンマー教会協議会の協力で開催された。テーマは「共に旅をする・アジアで真理と光の証をする」であった。開会のあいさつでアジアキリスト教協議会(CCA)総

チユナカラ博士は「目の前には課題と問題が山積みである。外的要因で教会の宣教活動が破壊され、信頼関係が弱くなることもあるかもしれない。いくつかの国は宣教の戦場となった。しかし、アジアのキリスト教会は使命にしっかりと立ち、宣教に身を委ね、平和と正義のために異なる宗

教が力を合わせる必要があることが力強く語られた。参加者は20のグループに分かれてバイブルスタディーのディスカッションの時間が毎日用意されていた。私が所属したグループでは気候温暖化などの環境汚染が最初に話し合われた。小さなことから始めよう、ということになり

2日目のディスカッションでは、ミャンマーの牧師が、北ヘルプ事務局局長川上直哉牧師が「福島」について発題した。閉会礼拝では在日大韓基督教教会の許伯基牧師が聖餐式の司式をした。

(加藤 誠報)

消息

猿谷恭平氏(無任所教師)



17年11月22日逝去、67歳。東京都生まれ。00年日本聖書神学校卒業。同年より出町、白河教会を牧会。遺族は妻・猿谷節子さん。

村上 伸氏(隠退教師)



17年11月23日逝去、87歳。愛媛県生まれ。61年同志社大学大学院卒業。63年より須磨、琴似中央

事務局報

歳。福島県生まれ。55年東京神学大学大学院卒業。同年より安城中部、安城、岡崎教会を牧会し、ドイツ・シュツットガルト、南西ドイツ福音主義教会(現EMS)福音連帯宣教会、世界宣教部研究主事、東京女子大学に務め、みくに、代々木上原教会を経て10年隠退。遺族は妻・村上雅子さん、木安 透氏(隠退教師)子さん。

正教師登録

加藤直樹(阿部晋也、新田恭平、佐々木謙一、矢澤美佐子、吉川光太郎(2017・11・23受按)岡田朋記(2017・11・26受按)教師異動

17年11月26日逝去、80歳。愛媛県生まれ。61年同志社大学大学院卒業。63年より須磨、琴似中央

東京教区辞(教木谷英文、洛南、就担木谷英文、福光、辞代小堀康彦、就(兼主)吉川光太郎、ユニオン日本語教会、就(外)上田容功、都農、辞(主)萩原義春、就(代)原田彰久、就担萩原義春、ベテル、辞(代)長崎哲夫、就(代)古旗 誠、教師隠退

長崎哲夫、奥田聖幸、教会通信先変更、草のかこ、〒337-0001、14、さいたま市見沼区大字大谷1676-11、坂本方、伝道所名称変更、埼玉中国語礼拝、埼玉中国語、伝道所所在地変更

17年11月26日逝去、80歳。愛媛県生まれ。61年同志社大学大学院卒業。63年より須磨、琴似中央

教師検定委員会よりお知らせ

「教師検定試験受験の手引き」を改訂しました。「受験科目の準備の仕方と参考書について」等、一部手直ししました。

◎価格 1冊200円 ◎問い合わせ 教師検定委員会 (TEL03-3320210546) まで

聖天 〒544-0034 旭川 条2丁目618 旭川 大坂市生野区桃谷2-12 星光伝道所 八ヶ岳 〒408-0020 八ヶ岳 北杜市明野町浅尾 新田1324

立川からしだね 〒190 10011 立川市高松町3-2-11 伝道所通信先変更 美馬牛福音 〒070-0875 旭川市春光5

お詫び・訂正

「教師委員会福島訪問報告欄」、「波江を」浪江」に、お詫びして訂正いたします。

